

心理学・教育学委員会 脳と意識分科会 第24期・第9回 議事要旨

日時：令和2年9月19日（土）14時00分～16時10分

会場：webex 会議 ミーティング番号（アクセスコード）：170 550 3472

出席者：苧阪直行委員長、福山秀直幹事、坂田省吾幹事、蘆田宏、今水寛、苧阪満里子、川畑秀明、坂上雅道、三宮真智子、仁平義明、松井三枝、山口真美、渡辺正孝（13名）

配付資料：第24期・第7回議事要旨

報告

（1） 学術会議総会報告（松井三枝先生）

これまでの会員総会についての報告がなされた。

（2） 公開シンポジウム報告（坂田幹事）

9月8日13時-24時限定公開の「SS-001・融合社会脳研究の発展へ向けて」の公開シンポジウムに対しては200名以上の参加報告があった。半数近くは日本心理学会第84回大会参加者以外の聴講と見られると報告があった。公開シンポジウムとしての役割は果たしていたと報告された。

議題

（1） 前回議事要旨の確認

第7回分科会の議事要旨を確認した。

なお、第8回分科会が3月27日（金）に予定されていたが、コロナウィルス感染予防の観点から中止された。

（2） マスタープラン2020について

マスタープラン2020は8月11日から13日のヒアリングには連絡がなかったとの報告があった。今後は構想実現へ向けてより広い視点を盛り込んだ計画が必要である等の発言があった。

（3） 今後の分科会の方向性について

各委員から意見発言があり、第25期も引き続き同じ方向性で進めるべきであると合意した。

（4） その他

25期が10月から開始される。各委員は再度、分科会への参加手続きをして下さいとアナウンスがあった。